

平和への祈り新たに

21回目の終戦記念日を迎えた8月15日、平和の誓いを新たにしようと全国各地で記念行事が催されました。

東京の日本武道館では天皇、皇后両陛下をお迎えして、第2次大戦で戦没した310万人の霊をなぐさめる政府主催の「全国戦没者追悼式」が盛大に行なわれました。

女は自衛する

夏は1年のうちでも一番性犯罪の多い季節です。

そこで若い女性を対象に痴漢防止法の講習会が開かれることになりました。準備あれば愛いなし、防犯ブザーや護身用催涙ガス噴射器まで登場しました。

だが、いくら対策は考えても次第に露出オーバーになりがちな流行、これにも責任があるようです。

夏を涼しく

— 東京・名古屋・岐阜 —

立秋とはいっても、水銀柱は連日30度を越す暑さ。

暑さしのぎに東京都内の若人たちは「大滝すべり」に水しぶきをあげ、スリルで涼をとっています。

夏はやっぱり海。だが、ただ泳ぐだけでは能がないと、此処、名古屋の鼓ヶ浦では海辺の「野点」と洒落込んだお嬢さん方がいます。古式ゆかしくといたいところですが水着姿がいささか日本情緒を損うようです。

夏の名物は岐阜県郡上八幡の「ソーメン流し」、手の切れそうな清水を伝って流れるソーメンを食べて内臓から冷そうという趣向です。

こちら東京のあるホテル。一流コックさんを総動員して、夏休みの子供達に氷細工指導、コック室は氷の芸術品で埋めつくされました。何ととっても涼しいのは冷凍室。零下30度の冷氣は霜氷を作り、中で作業員は寒さに震えあがっています。

また防衛庁の低温実験室は零下60度。防寒服の係官は実験を終え小休止。南極から持ち帰った氷でオンザロック。炎天下にいる人にとってこれ以上羨らやましい話はないようです。